

TASAKI

# 変わらないために 変わり続ける生き方

徹底的に品質にこだわり続ける

60年以上受け継がれてきたわたしたちの想い。

創業時から真珠の養殖場を保有し、養殖から選別や加工、

そして販売までを一貫して自社で行ってきた誇りを胸に

ビジネスモデルを転換し、ジュエリーに新しい息吹を吹き込んできました。

そして、日本発のグローバルラグジュアリージュエラーとなるべく

TASAKIは世界戦略を加速しています。

品質にこだわり続ける変わらない想いをもちながら

新しい価値を生み出すために変わり続ける。

ともに、新しい価値を世界へ。

変わらないために、変わり続ける生き方を。





## 総合コース

ショーケースに並ぶまでに  
託されてきた、いくつもの想いを  
しっかりと受けとめながら  
お客様にとって最高の商品をご提案します。

もしも目の前にいるお客様が自分の家族だったら、大切な友人だったら、どの商品をどのようにご紹介するだろう。「本当に心からお客様のことを想う」というのは、そういうことなのかもしれません。ただ商品を販売して終わりではなく、その先の人生を輝かせ、購入した時間さえも、素敵な思い出として胸に刻んでいただく。それがTASAKIの最前線である店舗で、接客をするということです。そのためには、お客様がどんな服装をお好みなのか、どんな場所にお出かけになることが多いのか、どんな価値観を

## 総合コース

旗艦店である銀座本店をはじめ、全国各地に展開している店舗で直接お客様にジュエリーを提案したり、将来的には店舗運営やお取引先との打合せなど企画力を発揮していく仕事です。また、適性やスキル、パフォーマンス、社内評価などを総合的に判断し、マーケティング、マーチャンダイジング、生産、管理部門といったバックオフィスへの配属の可能性があります。

お持ちなのか、会話を通じて掴むことが必要になります。表情の向こう側に、どんな気持ちが潜んでいるのかを想像することも大切です。販売は、実に奥の深い仕事。そして、喜びをお客様と分かち合える仕事でもあるのです。店頭ショーケースに並ぶ、まばゆいジュエリーにはひとつひとつストーリーがあります。真珠の養殖にはじまり、企画から加工まで、多くの工程を経て仕上げられたジュエリーを長いリレーのアンカーとして、お客様にご紹介するのが総合コースの役割です。それぞれのプロセスに携わるスタッフたちの様々な想いが託されている以上、わたしたちはその想いも届けていきたいと考えています。時には各部門の担当者から直接、その情熱やこだわりをヒアリングすることもあります。素材調達から加工、販売まで、一貫体制を築いていることは、お客様にとっての安心につながっていますが、総合コースのメンバーにとっても、誇りを持って店頭に立つことができる原動力になっています。

現在、TASAKIの総合コースには様々な可能性が広がっています。国内の直営店はもちろん、海外出店の際には、立ち上げ時に現地スタッフの教育を担当する機会もあります。日本のおもてなしの心を世界に伝えていくこと。それもまた、TASAKIだからこそできることです。





## デザイナーコース

思い描いたデザインが、  
お客様の人生を彩っていく。  
これまでのTASAKIらしさをベースに、  
これからのTASAKIらしさを生み出す仕事。

それぞれがテーマに沿って描いたデザイン画を持ち寄り、そのデザインのコンセプトと共に提案を行う。このミーティングがデザイナーにとっての正念場となります。与えられたテーマに沿っているか、お客様が身に着けたい魅力があるか、更にはトレンドを押さえているか。多様な視点から審議し、「今のTASAKI」に相応しいデザインがたくさんアイデアから選出されるのです。デザイナーの仕事は過去を踏襲するのではなく、そこからTASAKIらしさや手法を学び、そこに自身のアイデアで斬新さやモダンさを加えて

## デザイナーコース

新たなデザインを生み出すデザイナーの働くオフィスは、まさに「TASAKIらしさ」の発信源。“TASAKI Atelier”をはじめとするコンセプトやテイストの異なる複数のコレクションを展開しているため、担当デザイナーは常にアンテナを張り、デザインの引き出しを増やし続けています。

新しいものを生み出していくこと。そのためにはファッション、空間、広告などあらゆる情報に対する感度を高め、新しいTASAKIらしさを常に模索し続けることが求められます。そして採用されたデザインは、工芸部門やマーチャンダイジング部門とのディスカッションを経て、平面から立体に成形されます。時には海外デザイナーとの綿密なやり取りを行うこともあり、高いコミュニケーション能力が問われるグローバルな仕事です。

ジュエリーは小さいながらも精緻な世界。宝石を固定する台座の形やその微妙な高低差、肌に触れたときの感触など、部品の厚さや位置が0.01mm異なるだけで印象が変わってしまいます。強度を保ちつつ宝石の美しさが際立つデザインを細部にわたって追求し、お客様に長い間ご愛用いただけるジュエリーを実現する。それがジュエリーデザイン最大の難しさであり、やりがいでもあるのです。

デザイナーにとっての喜びは、自らデザインしたものが商品として形になること。そして何より嬉しいことは、その商品



をお客様にお選びいただくことです。丹精を込め、長い時間をかけて作り上げたジュエリーは、タイムレスな輝きを得て、お客様の人生に寄り添い続けます。最高峰の美を求め続け、いつの世にも新鮮な永遠の価値を世に送り出す、というTASAKIの使命を形にするのがデザイナーの仕事なのです。



## ジュエリー 制作コース

平面に描かれた斬新なデザインを  
美しく、実用的で身につけやすい立体へ。  
新たな機械、新たな素材、新たな手法へと  
革新を続けるのが、技術者の魂です。

ものづくりには終わりがありません。最適な手法に辿り着くまで試行錯誤を重ね、そしてかたちに変える。その営みは、TASAKIが創業して以来、絶えることなく繰り返してきたこと。工房には、そうした先人たちの息づかいがしっかりと根付いています。「技」というものは、一朝一夕では身につけません。ビジネスである以上、コストやスピードの制約はありますが、熟練のクラフツマンから時間をかけて継承するほかないものも多くあるのです。

近年、TASAKIのジュエリーは斬新なデザインでも話題に

## ジュエリー制作コース

神戸にある工房で、斬新なジュエリーを完成させるジュエリー制作コース。デザイナーの想いを汲み、描かれたデザインをイメージ通りに具現化し、美しさはもちろん、身につけた時の心地よさも実現しています。素材や制作工程といった技術者としての視点に加え、審美眼も問われる職種です。

なっています。ジュエリー制作コースはそのクリエイティビティにあふれた平面のデザイン画を、立体化する技術部門です。当然ですが、置物でもなく、工業製品でもなく、装飾品を生み出すわたしたちが最もこだわるのは「美しさ」です。しかし、同時に「丈夫さ」や「心地よさ」など、実用性を考えるのもジュエリー制作コースの使命です。いかに独創的なアイデアであっても、すぐに壊れるようでは商品化は難しく、中には成形すること自体が困難なものもあり、デザイナーとの議論は常に白熱します。

ジュエリーは、大きく分けて「鋳造」、「細工」、「磨き」、「石留め」、「仕上げ」、「珠つけ」という工程を経て完成へと至ります。これは複数制作するジュエリーであっても、一点物であっても変わりません。最も緊張感が高まるのは、完成した商品サンプルを社内で行われる承認会で披露する瞬間です。不思議なもので自信をもって提案するデザインは、承認会でも満場一致の称賛が得られます。TASAKI全社員が「美」に対する共通認識をもっていることの表れかもしれません。

TASAKIの工芸部門は歴史も長く、伝統の技法が数多くあります。しかし、時代は大きく変わってきています。機械も、道具も、素材も、どんどん新しいものにチャレンジしていかなければなりません。時計業界や、歯科業界など、精緻な細工を施す過程がある他ジャンルから学ぶこともあります。革新し続けること。それもまた、TASAKIのものづくりの真骨頂です。





## 素材加工コース

永遠に変わることのない  
クオリティへのこだわり。

TASAKIにふさわしい素材を選別し  
さらに価値を高めるための加工を施します。

TASAKIのアイコンのひとつに“balance”というシリーズがあります。リングやネックレスに、同サイズ同色の真珠が直線的に数珠あしらわれ、幅広い世代から愛されています。膨大な量の真珠の中から色や形、照り（光沢）が合う、希少なピースを選びすぐっていきます。素材加工コースとは、そのように真珠やダイヤモンド、カラーストーンの品質を選別し、それぞれの製品にふさわしい形に仕上げる仕事です。

例えば真珠は、単に大きさや色目だけではなく、この2つ

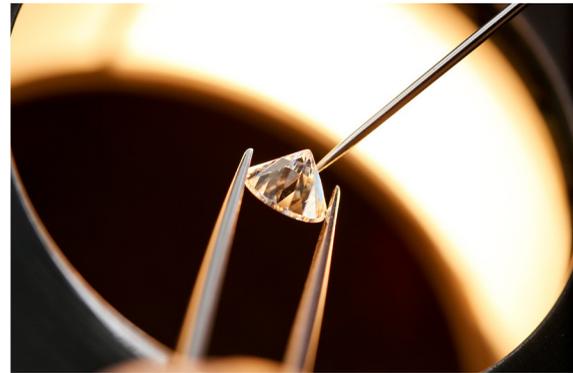
## 素材加工コース

真珠の加工やダイヤモンドの研磨など、素材の持っているポテンシャルを最大限に引き出し、最も美しく仕上げるのが素材加工コースの仕事です。技術や審美眼を磨くためにはもちろん根気も必要になりますが、その努力こそがお客様の大きな満足感へとつながっているのです。

に加え、巻き(真珠層の厚さ)、照り(光沢)、形、キズ、という6大要素によって、選別が行われます。

生き物がつくった真珠にはひと粒ひと粒に個性があり、様々な工程を経ることにより美しさを引き出され、加工され、商品としてTASAKIが世に送り出すことができるレベルになります。最高級品になると、ひと粒で数百万円の販売価格になるものもあります。その目利きになるには長い年月が必要であり、この経験が活かせる仕事に生産管理という職種があります。その役割を担っているのは多くが真珠の品質を見極める能力が備わった素材加工の経験者です。

生産管理は、いわば質、量、コストなどすべてを見渡した上で、TASAKIの真珠の基準を守り続ける仕事です。時とともに人は入れ替わっていきますが、TASAKIの真珠のクオリティは決して変わることが許されません。それがお客様への約束であり、信頼だからです。TASAKIの真珠は今、そのイメージを刷新し、大きく



飛躍していますが、ブランドの根幹を成している真珠は、永遠に変わらない光沢を放っています。



## 真珠養殖コース

海という環境を見つめながら  
貝という生き物と向き合い  
情熱を注ぎ込む。  
真珠づくりに終わりはありません。

清らかな水質、穏やかな波、適度な潮の流れ、豊富なプランクトンなど、真珠にとって最も重要な条件を満たした環境からTASAKIの高品質の真珠が生まれます。

通常、25℃前後の海水が生活環境として適していると言われるあこや貝ですが、九十九島の海は近年、冬は10℃以下、夏は30℃以上にもなり、貝にとっては厳しい環境になりつつあります。そこで真珠養殖部では、日本古来の在来種に加え、様々な海況変化に耐性を持つあこや貝の作出にも力を注いでいます。しかし、強いだけでは十分ではなく、美しい真珠を育むことができる

## 真珠養殖コース

長崎・九十九島、三重・伊勢志摩、そしてインド洋に面したアンダマン海に保有している真珠養殖場で、貝の採苗や稚貝の育成、挿核、育成、浜揚などを行います。品質の高い真珠を安定的に生産するためには、種苗手法の研究や、新たなテクノロジーの導入が不可欠。また、あこや貝のジーンバンク\*をつくり次世代に継承する使命もあります。

\*生物の遺伝資源を収集・保存する仕組み・施設

品種かどうか、それが最大のポイント。品質をめぐる挑戦には終わりがありません。

わたしたちが相手にするのは生き物です。そして海も、状態を絶えず変化させます。これらの自然を相手にすることが、真珠養殖の仕事なのです。季節ごとに漁場を移し、愛情を込めて世話をし、貝の中に核を入れ、約4年もの歳月をかけて真珠を収穫しています。

現在、TASAKIは国内でもトップクラスの品質の真珠を生産しています。真珠の生産手法は100年間大きくは変わっていないとも言われますが、技術革新は必要です。2017年に九十九島の養殖場に新設されたあこや貝の種苗施設は、そのための拠点となる施設です。遺伝子解析などテクノロジーの進歩には著しいものがありますが、先行しているのは人間などの哺乳類を対象とした分野です。海洋生物にどのような技術が活用できるか、常に他分野から情報を集める必要があります。大学や自治体などと連携する機会も増えています。

TASAKI以外にも、真珠の養殖を行う会社や真珠のジュエリーを展開するブランドはあります。しかし、その両方に軸足を持って

いることはTASAKIの強みであり誇りです。その誇りは日々、貝に触れている社員たちの共通の想いであると同時に、命を扱っていることに常に敏感であり、真摯に向き合うTASAKIの姿勢にも体現されています。美しい光沢を放つ真珠を手にするために、わたしたちは情熱を、技術を注ぎ続けます。「海を見る」「貝を見る」、そして「真珠を見る」。これが、養殖の現場に受け継がれてきた哲学なのです。



TASAKI



## 時代とともに変化するグローバルマーケットの 一歩前を常に走り続けます

代表執行役社長 田島 寿一

わたしたちTASAKIが、ブランド宣言の中で掲げているのは、“Quality(品質)”、“Craftsmanship(職人技)”、“Creativity(創造性)”の3つのキーワードです。その土台には、素材の開発・製造から商品のデザイン・生産・販売までを一貫して自社で行えるビジネスモデルがあります。

ポテンシャルのある世界のマーケットを積極的に開拓し、ブランドがさらに育っていけるよう、TASAKIでは商品戦略、コミュニケーション戦略、出店戦略、販売戦略など、ビジネス拡大のための施策に全力を投じ、前進を続けている最中です。

コーポレートビジョンであるグローバルラグジュアリージュエラーの地位を確立するためには、TASAKIブランドだけでなく、会社組織そのものがさらにグローバル化していかなければなりません。組織はこれまで以上に、スピーディに変化をしていく必要があるでしょう。そうでなければ、欧米をベースにする競合ブランドにも、変化の速いマーケットにもついていくことなどできるはずありません。

ひとつの成功体験に留まらない。変わる・変えることに躊躇しない。そして何より新たなチャレンジに積極的に取り組む。そうしたことに能動的な人が活躍するステージを、わたしたちTASAKIは用意します。

TASAKI & Co.,Ltd.

株式会社TASAKI 人事部 採用育成課

E-mail : [recruit@tasaki.co.jp](mailto:recruit@tasaki.co.jp)

[www.tasaki.co.jp](http://www.tasaki.co.jp)